

上関地点 2020年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事 排水の水質	10月 1日 11月 9日 12月 2日 1月 5日 2月 3日 3月 2日	水素イオン濃度、浮遊物質ともに管理目標値内であった。			
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	7.0~7.3	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質 (日平均値)	9mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月9, 26日 3月9, 23日	鼻線島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			写真 1
海生生物	潮間帯生物	10月13, 14日	植物ではイシゲ、イワノカワ科など33種、動物ではアマガイ、カメノテなど40種を確認した。			写真 2
	海藻草類		ノコギリモク、サビ亜科など33種を確認した。			
	底生生物		サザエ、アカウニなど6種を確認した。			
	スナメリ	10月, 3月 (週1回・計8日)	確認回数は計10回、延べ20頭を確認した。			
	カクメイ科等の貝類	10月27~29日 3月15, 16日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所で開催を実施した。			

※ タイドプール: 干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視調査計画以外の環境調査》

○ カムリウミスズメ

下期の調査において確認はなかった。

○ カラスバト(写真3)

計画地点において、10月に鳴き声を確認した。

なお、鼻線島においては、10月に姿および鳴き声を確認し、12月に姿を、3月に鳴き声を確認した。

《その他》

○ カラスバトの調査において11月にクイナ科のオオバン(レッドデータブックやまぐち2019「準絶滅危惧」)1個体を確認した。(写真4)

○ 環境省レッドリスト2020(第4次レッドリストの改訂)の公表(2020年3月27日)に伴い、現在までの調査において確認されている種の中で、新たにオオセグロカモメ(カモメ科)が準絶滅危惧に指定された。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(3月9日 親鳥雄)



(3月23日 親鳥雌)

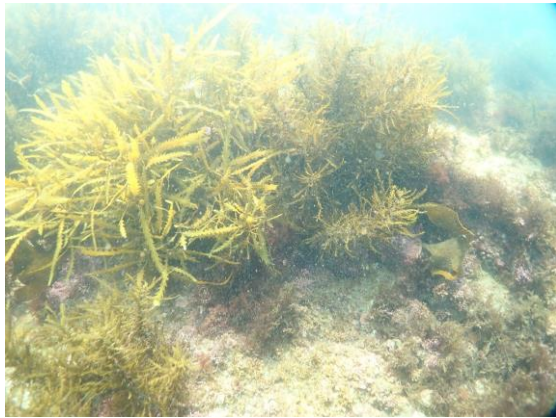
写真2:海生生物(10月13, 14日)



イシゲ



アマガイ



ノギリモク



サザエ

写真3:カラスバト



(10月21日 鼻線島)

写真4:オオバン



(11月28日 田ノ浦)